

特別委員会報告

防災対策特別委員会、現市民病院利活用特別委員会、地域医療・新病院特別委員会が開催され、それぞれの内容について、議論を交わしました。

主な内容は、次のとおりです。

防災対策特別委員会（5/8開催）

液状化危険度マップが示されました。

液状化被害軽減対策検討会で進めてきた「液状化危険度マップ」が示され、6月に全戸配布されました。また、7月6日・7日に学習会も開催されました。

液状化対策及び津波対策に関する学習会を開催しました。

東海大学海洋学部の福江正治教授と静岡大学防災総合センターの牛山素行副センター長をお招きし、液状化対策の成果と液状化危険度マップの解説、津波災害の実例紹介と袋井市津波避難計画についてご講演いただきました。

現市民病院利活用特別委員会（5/10開催）

（仮称）袋井市総合健康センター整備の考え方と今後のスケジュールが示されました。

①健康指導センター

袋井・浅羽保健センターが主体となり、事業推進を図る必要がある。現施設移転を含め協議を進める。

②健康支援センター

保健センターや社会福祉協議会が主体となり、総合的な相談支援の推進などを図る必要がある。関係機関との協議を進めていく。

③外来・検診センター

社会福祉法人聖隷福祉事業団により、総合内科的な外来を開設し、また健診機能の充実に向けた協議を進めていく。

④一般病床・回復期リハビリテーション病床・療養病床

社会福祉法人聖隷福祉事業団が運営する計画で、平成25年度からそれぞれ50床ずつ順次開設し、平成28年春には、全150床で稼働できるよう協議を進めていく。

⑤在宅療養支援センター

これまでの民間介護事業者に加え、平成24年4月に開院した民間2事業者により、24時間訪問看護事業を開始されるなど体制が整いつつある。今後も事業者との連携に努めていく。

⑥休日夜間急患センター

袋井医師会において、当面は「在宅輪番方式」と「センター方式」を併用する方針を定めた。今後、「センター方式」について、具体的な協議を進めていく。

地域医療・新病院特別委員会（6/25開催）

新病院の医師の確保状況が示されました。（H24.6.25現在）

	現病院医師数（H24.6.1現在）			確保状況
	袋井市民病院	掛川市立総合病院	計	
内科	11	13	24	26
外科	13	13	26	26
その他	7	21	28	32～35
計	31	47	78	84～87